

名古屋大学留学生センター 日本語・日本文化教育部門 (1994-95)

村上 京子

機関概要

名称： 名古屋大学 留学生センター

住所： 〒464-01 名古屋市千種区不老町

tel 052-789-2198

fax 052-789-2199

沿革： 1977年、外国語教育のための組織であった語学センターが、当時増加しつつあった外国人留学生のための日本語教育を受け持つこととなった。1979年、総合言語センターの1学科として「日本語学科」が発足し、「日本語研修コース」が開講された。さらに1981年から「日本語・日本文化研修コース」が、1984年からは教養部在籍の留学生を対象として一般教育外国語科目としての日本語の授業が行われるようになった。1991年には、総合言語センターが言語文化部に改組され、日本語教育も言語文化部の一端を担った。1993年には、増加の著しい留学生の日本語・日本文化の教育、修学上・生活上の指導助言、ならびにそのための調査・研究を行うことを主な目的として、学内共同教育研究施設として、新たに留学生センターが設立された。

組織： 留学生センターは、名古屋大学に在籍する留学生の日本語および日本事情の教育や、東海・北陸地区の大学院に進学する留学生の日本語予備教育を行う日本語・日本文化教育部門、ならびに全学的な見地から外国人留学生に対する指導援助を行う留学生指導相談部門、事務を担当する留学生課からなっている。

機関代表：センター長 馬越 徹 (93、94年度)、石田 眞 (95年度)

日本語・日本文化教育部門代表 尾崎 明人

教官数：常勤 7名、非常勤 32名

学生数：名古屋大学留学生数 719名

日本語研修コース学生数 前期 44名 後期 42名

日本語・日本文化研修コース学生数 21名

研究生 2名

日本語・日本文化教育部門活動内容

1. 日本語研修コース

東海・北陸地区の国立大学大学院等で専門的な研究を行おうとしている研究留学生および教員研修留学生を対象とする集中日本語コース。期間は6カ月(授業時間数約600時間)、定員45名で毎年4月と10月に受け入れている。日本語で日常生活がおくれるようになるだけでなく、専門の研究に必要な日本語の基礎を学び、専門分野の教育・指導が受けられるようになることがコースの目標である。

2. 日本語・日本文化研修コース

本国の大学で2年以上日本語を学び、日本語・日本文化の研究を志望する国費留学生を対象とする。期間は1年(授業時間数約900時間)、定員20名、毎年10月受け入れ。高度な日本語運用能力を身につけさせるとともに、言語学、日本語学、日本文学、日本文化学、国際関係論などの講義を日本語で行う。学生はそれぞれが研究テーマを選び、教官の個人指導を受けながら日本語で研究レポートを作成する。

3. 学部留学生向け授業

各学部の1年生、2年生を対象に上級の日本語教育を行っている。専門書を読む、レポートを書く、講義を聞く、ゼミで発表するなど、大学での勉学に必要な日本語の技能を伸ばすことを目的とし、学生は週に4時間から6時間の授業を受け、単位を取得する。

4. 全学向け日本語講座

各部局に所属する大学院生、研究生、外国人教師、研究員などを対象とする。初級から上級まで、11のクラスがあり、それぞれ週に2～4時間の授業が行われる。通常の授業期間だけでなく、夏と春の休みにも集中日本語講座を開講している。

5. 日本語教育の教材開発および研究活動

初級・中級テキストおよび上級の教材を開発している。また、日本語教育に関する国内外の情報収集や調査・研究も積極的に行っている。

名古屋大学日本語教育研究グループ編

A Course in Modern Japanese Vol.1

A Course in Modern Japanese Vol.2

現代日本語コース中級 I A Course in Modern Japanese Vol.3

現代日本語コース中級 II A Course in Modern Japanese Vol.4

現代日本語コース中級 I 聴解ワークシート

現代日本語コース中級 II 聴解ワークシート

名古屋大学留学生センター編

日本語・日本文化論集 Vol.1～3

年報 Annual Report No.1, 2

日本語・日本文化研修コース研究レポート集 1982年度 - 1994年度